平成１７年第６回羽村市議会（定例会）　一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目
１人目	3番	濱　中　俊　男	1清流地区等の多摩川右岸についての施策を伺う (1) 清流地区の汚水管渠整備事業の進捗状況について ①都道29号線、あきる野市道548号線の拡幅・汚水管埋設の状況および完成年度はいつか ②清流地区の汚水管布設計画の、今後の予定はどうか ③現在汚水は、汲み取りのほか合併および単独し尿浄化槽で処理をしているが、経年劣化等により土壌や多摩川への汚染の危険性はないか ④本事業全体の事業費、そのうち国・都の補助金、起債、市の一般財源持ち出し額はそれぞれ幾らの予定か (2) あきる野市道 548 号線の山側部分の崩落予防対策は、どうなっているか (3) 長期総合計画・実施計画において、公園の整備として計画されている、丸山下散策路の整備計画の進捗状況はどうか (4) 清流地区における、「はむらん」の利用状況について ①清流地区のバス停 2 カ所の乗降客数や利用目的等の調査は行っているか ②羽村大橋西詰付近に、バス停を設置して欲しいとの要望があったと聞いたが、設置する考えはあるか (5)「市長と語る21」で清流地区市民から、どのような要望があったか。それを受けてどのような対応をとったか (6) 主旨で述べたように、当該地区の施策に関しては、あきる野市との緊密な連携が必要と考える。そこで、両市間での定期協議等は、行っているか
２人目	16番	秋　山　　猛	1すこやかな子ども達の成長を願って (1) 各地で傷害事件が発生しているが、それらの理由と背景について教育委員会としてどのような見解をもっているか。また、当市の児童・生徒への指導はどのようにしているか (2) 羽村市における不登校やいじめ、児童虐待の状況はどうか。それらの対応は 教育相談員、適応指導教室と学校、児童相談所など関係機関との連携はどのようにはかっているか (3) 市内の小中学校では「夢チャレンジセミナー」や「職場体験」として、市内の企業や商店で実習していると聞き及んでいるが、ニート対策や職業意識の高揚の面から非常に良いことだと考えるが教育委員会としてどのように受け止めているか (4)「特色ある学校づくり交付金」制度を創設し、各小中学校の教育活動の充実に取り組んでいるが、その成果は (5) 学力到達度調査が本年 1 月に実施されているが、その結果はどうか。また、今後どのように生かしていくのか 2羽村駅西口土地区画整理事業について (1) 本事業を円滑に進めていくためには、減歩の緩和など

			住民負担の軽減をはかっていくことが必要である。区画整理区域内の先行購入土地の面積はどの位か。また、今後の予定は (2) 駅前広場と駅舎へのエレベーター・エスカレーターの設置は予定どおり平成 18 年度に着手できるか (3) 羽村駅西口駅前ワークショップが本年 2 月から 5 月にかけて開かれ答申がされているが、その内容と今後の扱い方について (4) 事業計画の中には、川崎西地区に地域の行事が可能な多目的に使用できる公園の計画が示されていないが、川崎西地区内との一体性の中で計画できないか。具体策について、再度伺う (5) 今後の本事業のスケジュールについて
3 人目	7 番	佐　藤　征　一	1 自動体外式除細動器（略称ＡＥＤ）増配計画について問う (1) ＡＥＤ増配置に関係する研究課題の進み具合について (2) 市民を対象とした講習会の実施状況について 2 羽村市中心市街地活性化基本計画の進み具合について問う (1) 商業等の活性化に関する事業 34 施策の内、平成 16 年度から 17 年度の前期分 21 施策について (2) 平成 17 年 12 月時点の中心市街地内の空店舗、未利用地について
4 人目	14 番	桑　原　　　寿	1 男女共同参画社会の実現に向けて (1) 仕事と家庭生活を両立しやすい社会への構造改革が急務と考える。まずは、市が模範を示すべきとの視点に立って、市職員の残業なしなど「働き方の柔軟性」や、性別役割分担意識の解消、男性の家事・育児への参加度からなる「家庭内役割分担の柔軟性」、男女の賃金格差の解消、女性管理職割合の高さからなる「雇用機会の均等度」について現状と今後の取り組みについて、市長の見解を伺う (2) 働く女性が安心して子どもを産み育てながら、しかも働きやすい環境づくりが不可欠である。地域の子育て環境、子育て費用の軽減、子育て支援の充実度を高める施策や制度を強力に推進する必要を感じるが、市長の考えを伺う (3) 国、都の条例でよしとするのではなく、市としての条例制定が待たれる。 当市の「男女共同参画基本条例」策定への進捗状況を伺う 2 介護保険法の改正で、市の介護サービスはどう変わるのか (1) 地域支援事業は、要介護認定で「自立」と判定された人や、市町村が実施する介護予防健診で選ばれた人が対象とされているが、いわゆる虚弱高齢者の把握のための事業はどのように行うのか。また、運動能力の機能向上にはパワーリハビリが効果的といわれているが、介護予防サービスをどのように展開していくのか (2) 新方式による「要支援１」「要支援２」は、現行の「要

			支援」「要介護１」とどのような関係になるのか。従来の介護保険のサービスとどのように違ってくるのか (3) 新予防給付のケアマネジメントは、いつから、どのように取り組まれるのか。 (4) 市は、地域包括支援センターを何カ所設置し、その運営は委託なのか直営で行うのか。また、従来の基幹型と地域型の在宅介護支援センターはどのようになるのか (5) 地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談や権利擁護事業が位置づけられている。市では、高齢者の虐待防止や成年後見制度の利用促進についてどのように考えているか
５人目	６番	中　根　康　雄	1 住宅の耐震性を高める助成制度を設けるか否か (1) 羽村市は西多摩では他市に先駆けて建物応急危険度判定員の訓練を実施しているが、どのような訓練をしているか。現在の登録人数は何人で、そのうち市内在住で在勤の一級建築士は何人か (2) 大地震発生時にまず防災担当職員のうち、在庁時以外の時で即招集できるのは何人か (3) 石居議員の視察報告にもあった、神戸防災未来センターの防災担当者用コースを職員に受講させる考えはないか (4) 減災社会実現のためにはどう対応したらよいと考えるか。またそれには何が最も有効と考えられるか (5) 住宅の耐震化率のさらなる向上を図るには何が必要と考えるか。また、診断から改修工事までの流れをどのように認識しているか (6) 市の耐震診断・耐震改修に関する相談窓口はどこで、どのような対応をしているか (7) 市民の安全を守るため、住宅の耐震診断と改修工事助成制度を創設すべきだが、来年度は診断者と施工者のレベル向上と組織化の準備期間とし、再来年度より実施したら良いと考えるがどうか
６人目	12番	菱　田　・　樹	1 安全・安心のまちづくりへ (1) 市民生活安全パトロールの効果をどう評価するか (2) このパトロールはいつまで行うのか (3) 3･4･16号線工事に伴う安全対策を問う 2 「新予防給付」などを創設した改正介護保険法について (1) 改正法では５項目にわたり、制度運営を見直し、持続可能な制度構築を目指している。 そこで、予防重視型システムへの転換を中心に質問する
７人目	１番	馳　平　耕　三	1 校長・副校長は、もっと率先して「授業」を担当すべきではないか (1) 今年から、教頭が副校長と呼び方が変わったのは何故か。また、その職務は変化したか

			(2) 羽村市では、校長・副校長は、年間どのくらいの授業を担当しているか (3) 校長・副校長は、もっと率先して「授業」を担当すべきだと考えるが市の考えを問う (4) 校長・副校長は、若い教員の保護者対応を援助できないか (5) 校長・副校長は、教員からの相談に応じているか (6) 校長・副校長の業務の中で、マネージメントは、イギリスの学校理事会制度、バウチャー制度や、また、ｅラーニングを採用する事で、削減できないか 2 羽村市次世代育成支援行動計画をさらに進めることができないか (1) 子ども家庭支援センターへの相談件数が急増しているが、今の体制で大丈夫か (2) 外国人の相談に応じるために、国際化への対応を推進しているが、いつ、どのような計画を実施しようと市は考えているか (3) 母親学級・両親学級の回数を増やせないか (4) ホームページの充実や子育て応援ガイドブックをもっと充実できないか (5) 羽村市次世代育成支援行動計画に数値目標を明示することはできないか
8人目	9番	露　木　諒　一	1 小・中学校の通学区域の弾力化について (1) 学校通学区域制の弊害について (2) 通学区域の弾力化について (3) 学校選択性について 2 耐震対策について (1)「耐震改修促進計画」の作成について (2) 耐震診断、耐震改修について (3) 耐震性偽造や悪徳商法問題等の相談体制について
9人目	5番	水　野　義　裕	1 平成18年度予算編成について (1) 18年度の税収の見通しをどうみているか (2) 予算編成の方針はどのようなものか (3) 18年度の指定管理者について (4) 施設の維持修繕費について 2 住宅用火災報知器の設置義務付けについて (1) 既存住宅に対する条例はいつ頃までに制定する予定か (2) 義務付けに伴って悪質な業者による被害が予想されるが、その対策をどう考えているか 3 学校などの社会教育開放用施設について (1) 学校施設の管理について (2) 公民館の代替施設について

10人目	8番	舩　木　良　教	1 生産緑地の追加指定の状況及び農業体験農園の取り組みについて (1) 今年 9 月から生産緑地の追加指定が行われたが、その状況はいかがか ①ここで生産緑地の追加指定の、申請があった面積はどのくらいか ②追加指定は 3 年間と聞いているが、今後 2 年間でどの程度の追加指定が予想されるか ③農業委員会で事前調査したと聞いたが、その調査の数字と、実態の違いは (2) 既に指定されている生産緑地の状況をどのように把握しているか ①生産緑地の指定を受けながら、農地として耕作されていない所が見受けられるが、現状の把握はどうしているのか (3) 農業体験農園の取り組み状況について ①羽村市の農業体験農園について、取り組み状況はいかがか (4) 農業政策と障害者福祉政策との連携について ①羽村市においても、知的障害者の授産種目に、農業を取り入れられないか
11人目	13番	市　川　英　子	1 公共料金や利用料の値上げは止めよ (1) 来年度からの公共料金などの値上げはどのようなものがあるか。また、そのことによる市民の負担増はそれぞれいくらになるか (2) 定率減税廃止などによる市民税の増税についての見通しはどのように考えているか (3) 市民負担増は止めよ 2 羽村駅西口区画整理事業の強行は止めよ。また、区画整理事業とは別に羽村駅西口にエレベーター・エスカレーターの設置を急げ (1) 区画整理事業は住民合意がなくては絶対に進まない。合意を得るためにも「区画整理審議会」が全員の合意で進むよう市としても計画先行の考えではなく十分時間の保障をするという考えを示せ (2) どの自治体でも時代の流れと関係住民との話し合いで区画整理事業を進めている。区画整理の強行は止め白紙・凍結・見直しを市は選択肢の中に入れるべきである (3) ワークショップでは、「区画整理事業とは別にエレベーター・エスカレーターの設置をすべき」との合意が参加者間ではあったと聞いているが、市はどのように受け止めているか (4) 区画整理地域の地権者の数は何人か。そのうち反対している人は何人で、条件付きで賛成の人は何人との認識か。また、無条件に賛成の人は何人と考えているか 3 市内の畑・田・雑木林・保存樹木・樹林地の保存計画をしっかり作れ。緑の減少に歯止めをかけよ (1) 緑の保存計画を具体的に急いで持て。実施計画の緑の

			保全と活用の位置づけが弱い。 (2) 緑化支援システムとはどのような内容か (3) 現在の市内にある緑を守ることなしには、緑被率を上げることはできない。個人の庭の緑に期待しても無理がある。市の考えを伺う。 (4) 保存樹林地や畑など売却の予定は、市がいち早く情報入手ができる。そのような場合、市は購入することを第一に考えよ。
12 人目	11 番	門　間　淑　子	1 国民健康保険カードは利用しやすいものに改善すべき (1) カードの色、材質などはどのような経緯で決められたか (2) 利用者の意見は、どのように反映されたか (3) 市民から苦情は寄せられていないか (4) 高齢者も使いやすい、安定感のあるカードに改善すべきではないか 2 公正・透明な指定管理者制度を保障するため、再び問う (1) 制限対象は、理事者・議員・教育委員会委員に加え、配偶者・2 親等以内の親族も含めるべきではないか (2) 選定審査会委員の親族が応募した場合の制限規定は考えられているか (3) 指定管理者制度の公正性・透明性を保障するためには、制限条項は要領規定ではなく個別条例あるいは要項に条文規定すべきではないか 3 地域防災計画にアスベスト対策を (1) 市内にある鉄筋製の建物で、S55 年以前に建築された建物の数は把握されているか。また、その建物の耐震性が適正か否かを把握しているか (2) 地域防災計画の「がれき処理」は、アスベスト対応になっているか (3) 震災時、混在するがれきの中のアスベストの識別・分別・保管・廃棄はどのようになされるのか (4)「石綿使用建築物等解体等業務特別教育規定」を受講した職員は何名か (5) 防塵マスクの備蓄も必要ではないか (6) H10 年以前に建設された公共施設の石綿濃度測定が必要ではないか (7) 地域防災計画の見直しが必要ではないか
13 人目	19 番	高　橋　美枝子	1 介護保険の保険料や利用料の負担を軽くすべき (1) 10 月から施行された食費や居住費の負担増の軽減のために市は助成を ①食費の自己負担増の軽減や食事の質が低下しないように市は助成を ②居住費の負担増の実態を把握するとともに、負担軽減のためには助成すべきではないか (2) 第 3 期の介護保険料は低く抑えるべき ①平成 18 年 4 月から 3 年間の第 3 期の介護保険料は低く抑えるべきではないか

			②保険料の段階を細分化するなど工夫をして、低所得者の負担を抑えるべきではないか ③税制改正による影響を抑えられるように対策をたてるべきではないか (3) 介護保険料の引き上げや制度の変更などを、対象者や市民に知らせ意見を聞き、施策に反映させるべきではないか 2 ゆきとどいた教育はみんなの願い　羽村市も少人数学級実施に向けて検討を (1) 少人数学級の実施のために、国や都にたいし必要な要請を (2)羽村市でも少人数学級の実施に向けて検討すべき 3 米軍横田基地の再編強化に反対を (1) 在日米軍再編・強化に反対を ①在日米軍再編の中間報告について、市長の見解を問う ②市長先頭に在日米軍再編・強化に反対を (2) 米軍横田基地での深夜のエンジン騒音の原因を明らかにし、日米合意の規制順守を ①米軍横田基地での深夜のエンジン騒音発生の原因を明らかにすべき ②日米合意違反の騒音発生を許さず、規制を順守させるべき
14 人目	2 番	石　居　尚　郎	1 駅周辺の自転車等の放置防止と駐輪場の整備について (1) 羽村市や近隣市町において、集合住宅の建設・宅地化が進んでいる。また近隣市では、駐輪場を有料化している。このような中で、羽村駅周辺と小作駅周辺における駐輪場の利用状況について、どう分析し、今後どう見通しを立てているのか (2) 駐輪場の利用者は市外の利用者が多いと考えるが、 ①市はどういう認識をもっているか ②そのことを調査しているか ③この問題は、広域的な問題を含んでいると考えられるが、近隣市町やＪＲと協議をおこなっているか (3) 放置されている自転車等について ①保管場所の保管状況は ②引き取り手のない自転車の年間台数は何台か ③そのうち廃棄物とみなして処分する台数は何台か ④廃棄物やリサイクルとする以外の対策は考えているか (4) 市は、駅周辺の問題は、駐輪場対策も含め、総合的な計画を立てていくべきと考えるがいかがか 2「文字・活字文化振興法」施行による市の取り組みについて (1) 今年 7 月、「文字・活字文化振興法」が制定され、そこでは地方公共団体の責務が明文化された。羽村市はこの法律をどう捉え、今後どのように取り組んでいくのか (2) 10 月 27 日が「文字・活字文化の日」と制定された ①今年初めてこの日を迎えるにあたり、羽村市としてどう取り組んだか

			②春の4月23日の「こども読書の日」とともに、秋の「文字・活字文化の日」を読書推進活動の重要な日と位置づけ、取り組む考えはあるか
15人目	20番	中　原　雅　之	1 アスベスト対策について (1) 羽村市が管理する公共施設の（飛散性）アスベスト使用状況と対策について、9月以降の取り組みはどうか (2) 市内の公共的施設のアスベスト対策についてはどうか (3) 非飛散性アスベスト対策についてはどうか (4) アスベストについての市民からの相談への対応の現状と今後の対策はどうか 2 子育て支援のいっそうの充実を (1) 子育ての経済的負担の軽減を (2) 子育ての不安感や悩みについての相談体制の充実を (3) 障害のある子どもと家庭への支援の強化を